

—— 「緑の保全分科会」 調査経過 ——

1. 市街化区域内の樹林の所在を生駒山、矢田丘陵の中腹部から確認

：『現地で実感』

2. 市街化区域内樹林の所在を地図（1/2500）上で確認

- ：①図上で実感
②ラダー状の緑の帯も実感
③寺社林（概略）、杜さんを記入

3. 「杜さん調査カルテ」作成

：市街化区域内の「杜さん」を全数現地で確認しよう

---みんな一緒に踏査をしてみたが、「時間かかる」と言うことになり、個人分担型に

4. 「杜さん調査結果」の集合

：再調査必要箇所の抽出をしつつ、「杜さん」だけじゃない。市街化区域内には色々な種類の緑がある。

杜さんだけでなく、気になる樹林も調査しよう『他の樹林も写真に記録してみよう』

5. 「その他の樹林調査」の集合

：樹林の調査一部がまとまってきた。

各グループで役割分担をしているが相当の時間がかかる。

樹林を調査している過程で調査の対象の緑の分類が必要となってくる。

一言で保全する緑といっても、保全を視野にいれた樹林の形態による分類が必要と思われる。

6. 今後の調査と保全に関する議論のために

- ・『市街化区域内の樹林・樹木の分類（類型）と保全・活用への考え方』を整理する。
- ・分類をもとに、調査を継続実施していく
- ・調査に並行して保全にむけた議論を本格的に実施していく